

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	昭和62年度	根拠法令・例規等	備前市下水道条例 ほか
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	
	中項目	基本計画	08	快適な生活が送れるまち	
	小項目	施策	33	生活排水の適正処理	
事務事業名		12	下水道使用料賦課徴収事務		
			担当課(室)	下水道課	
			職・氏名	業務係長 岩崎和久	
			電話	66-9701	
			このシート作成に要した時間		2.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	下水道利用者	
目的(何のために)	下水道利用者から下水道使用料を徴収し、汚水処理費、維持管理費等の財源確保を図る	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水道事業者と連携してコスト削減と成果の向上を図る	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	下水道使用料賦課徴収事務	下水道使用者から使用料金の賦課徴収を行う	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	15,178	15,172	12,972
	必要人員	人	0.27人	0.29人	0.11人
	事業費	千円	2,144	2,343	872
	計	千円	17,322	17,515	13,844
	国県支金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他()	千円			
	一般財源	千円	17,322	17,515	13,844
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	調定件数の推移	説明	現年度使用料の調定件数		
	結果指標量	件	60,738	61,754	62,276
	対前年比	%	-	101.7%	100.8%
	活動コスト	円	1,929,600	2,108,700	784,800
	単位当たりコスト	円	32	34	13

事業の成果						(平成25年度事業)
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
		目標値(A)	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
取納率	実績値(B)	98.0%	97.9%	82.30%	到達目標値	
	達成率(B/A)	100.00%	99.90%	83.98%	100.0%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
現年度分取納率/現年度分調定額*100						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高 低い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高 低い
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高 低い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	<input type="radio"/> ・平成20年度において市内全域の料金算定方法の統一と、徴収方法の変更(2か月ごとの検針および徴収)を行いコストの縮減が図られました。 ・上下水道審議会の答申を受け、使用料の改定を行う。 ・H25年度は3月打ち切り決算のため、使用料収入はおおむね4/6となり、成果目標値を大きく下回っている。						

総合評価		総合評価
下水道使用料の徴収は、下水道事業の運営に欠かせない業務であり、徴収事務を水道事業者に委託することは効率的で有効性にも優れている。今後も水道事業者と連携を密にしてコスト縮減と成果向上を図る。		ABCDE 高や普や低い や通や低い 高 低い C

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	<input type="radio"/> 水道事業者と連携してコスト縮減と成果向上を図る。						

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな